

りっ 草 ばし ひ
葎 草 橋 碑

(稲城市指定文化財)

稲城市東長沼2111
☎042-378-2111
発行 1998.9.25



大丸用水と葎草橋碑(平成3年撮影)

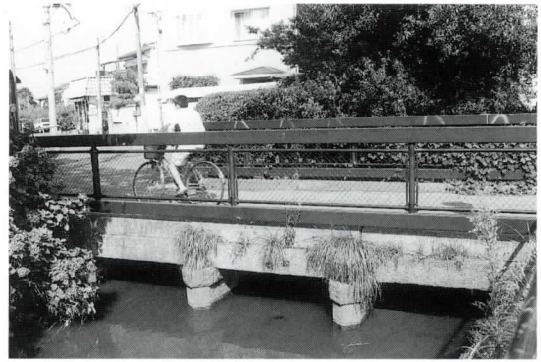
東長沼 656 番地先の大丸用水(菅堀)にかかる橋のたもとに葎草橋碑があります。この石碑は、当時から農業用水として大変重要な役割を担っていた大丸用水にかかる木橋を、天保9年(1838)に長沼、押立両村の協力で石橋にかけ替えたことを記念して建てられたものです。

石碑は、高さ126cm、幅35cm、厚さ23cmの角柱形で、表面には葎草橋の由来が刻まれています。この銘文には天保9年10月に石橋が完成したことが記されていますが、石碑の造立年代についての記載はありません。おそらく天保9年以降の幕末に建てられたものと思われます。石碑の右側面には「渠田川や多摩の葎の橋はしら、動ぬ御代の石と成蘭」という歌が刻まれ、安定した世の中を願う両村民の気持が表わされています。左側面には、江戸・八王子・川越・府中・小田原・大山・川崎・日光山の各方面への里程が書かれ、道標としての機能をはたしていたことがわかります。裏面には、「長沼村・押立村惣邑中」と書かれ、両村の協力による造立であることがわかります。



葎草橋碑

葎草橋を渡る旧道は、北へ行くと多摩川の渡船場（押立の渡し）に通じ、当時の幹線道路の一つでした。大丸用水を境として北側の押立村南側の長沼村にとって、幹線道路にある葎草橋の存在は大変大きなものであり、石橋へのかけ替えは両村民の悲願であったようです。葎草橋碑は石橋記念碑でありながら、道標としての機能をもち合わせた類例の少ない貴重な石碑といえます。



横から見た葎草橋

(裏面)

(左側面)

(表面)

(右側面)

<p>長沼村 押立村 惣邑中</p>	<p>江戸七里 小田原十六里 八王子四里 大田山十二里 川越八里 日光山卅六里 府中一里</p>	<p>葎草橋</p> <p>武蔵国多摩郡長沼押立両郷之経界有堰水蓋多摩川之支流也注而便土功架而作圮橋謂厥水曰渠田川謂厥橋曰葎草橋是地也草創之時荆棘未辟葎万蒙被故歎自元禄庚午架板橋以遷戸長等共服厥修事経之營之今茲天保九年戊戌冬十月新作石橋工人既卒功仍刻厥由以告後修事者云</p>	<p>渠田川や多摩の葎の橋はしら 動ぬ御代の石と成蘭</p>
----------------------------	--	---	------------------------------------

